

愛全園には十五の委員会があり、職員は業務だけでなく委員会活動もしています。今回は四つの委員会を紹介します。組織構成は介護職だけでなく、事務員、相談員、介護職など様々な職種が一丸となって取り組み愛全園を支えています。

活動内容はそれぞれ違いますが、愛全園の『十五の柱』で利用者の方が安全で・安心した生活が送れるようチームで取り組んでいきます。

愛全園を支える十五の柱

～チームで取り組む楽しさ～

身体拘束廃止委員会

利用者の方が安心して過ごせるように月に1回、各部署で身体拘束(動きを止めるような言葉と道具)がないか調査をしています。またどのようなものが身体拘束になるのか、身体拘束をしないためにはどうすればいいのかなどの対策や意見を出し合っています。

接遇委員会

職員の輪が広がるグッドネス！！

毎月のスローガン(分離礼・笑顔・身だしなみ・挨拶…など)を掲げ、日々の業務の中で職員全員が意識して取り組んでいます。またグッドネス報告(お互いの良いところを伝え合う)を実施し、モチベーションを高めています。

倫理委員会

褥瘡予防委員会

介護力向上委員会

ボランティア委員会

高齢者虐待防止委員会

防災委員会

交流委員会

広報委員会

感染対策委員会

愛道委員会

衛生委員会

事故防止検討委員会

日々の業務の中で“気付き”の力を養おう勉強会を定期的で開催し、日々の業務の中での体験事例を検討します。万が一利用者の方が怪我をするなど事故(転倒や皮膚剥離等)が発生しても、マニュアルにて対応しています。

食事委員会

個々に合わせた食事を提供！！

現場職員と食事委員会が連携し情報共有に努めています。身体状況に合わせて低脂肪食や糖尿食、嚥下状態を見てご飯やおかずの形態を変えています。出た意見は食事委員会にて問題点を検討します。